



平成 28 年度 泉大津市予算

一般会計は前年度比 1.8%減の 273 億 9,196 万円

【平成 28 年度予算の内容】

一般会計をはじめとする平成 28 年度当初予算が 3 月議会で可決されましたので、その概要をお知らせします。

一般会計、特別会計、企業会計の全会計における総額は、前年度比 0.5%減の 582 億 788 万円、うち一般会計は前年度比 1.8%減の 273 億 9,196 万円となっています。

一般会計において、前年度比 5 億 64 万円の減となっているのは、南海本線連続立体交差事業や旭小学校増改築事業などの投資的経費の減額や、退職手当をはじめとする人件費の減が主な要因です。

■ 平成 28 年度 当初予算 ※表示単位未満を四捨五入している関係で、計が一致しないことがあります

会計名	平成 28 年度 (A)	平成 27 年度 (B)	増減額 (A - B)	増減率
一般会計	273 億 9,196 万円	278 億 9,261 万円	▲5 億 64 万円	▲1.8%
特別会計	216 億 3,465 万円	212 億 7,239 万円	3 億 6,226 万円	1.7%
企業会計	91 億 8,127 万円	93 億 5,659 万円	▲1 億 7,533 万円	▲1.9%
計	582 億 788 万円	585 億 2,159 万円	▲3 億 1,371 万円	▲0.5%

■ 歳入の概要

歳入は、市税や使用料・手数料など地方自治体の権限で収入できる財源「自主財源」と、地方交付税や国府支出金など国や府の意思決定に基づき交付される財源「依存財源」に分けることができます。

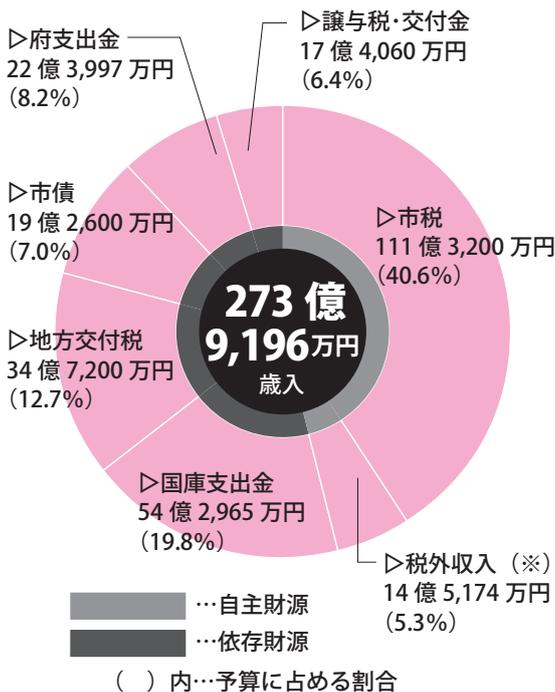
【自主財源】

自主財源は、前年度と比較して 2.0%増の 125 億 8,374 万円 (2 億 4,496 万円の増)、歳入全体の 45.9%と見込みました。このうち、自主財源の柱である市税は、固定資産税 (償却資産) の増収を見込み、0.9%増の 111 億 3,200 万円 (9,782 万円の増) としました。

また、税外収入については、前年度と比較して 11.3%増の 14 億 5,174 万円 (1 億 4,714 万円の増) としました。このうち、市民の皆さまにご負担いただいている一般家庭ごみ収集手数料は 8,325 万円を見込んでいます。

【依存財源】

依存財源は、前年度と比較して 4.8%減の 148 億 822 万円 (7 億 4,560 万円の減)、歳入全体の 54.1%と見込みました。この主な減の要因としては、南海本線連続立体交差事業、旭小学校増改築事業などの投資的経費の財源として発行する市債や退職手当債の減、地方交付税を 34 億 7,200 万円 (2 億 6,300 万円の減) と見込んだことによるものです。地方消費税交付金は 13 億 8,700 万円 (1 億 3,700 万円の増) と見込み、このうち、5 億 7,100 万円 (5,600 万円の増) は社会保障財源交付金として、障がい福祉事業などの社会保障関連経費に充てられます。



※税外収入…諸収入、使用料及び手数料、繰越金、分担金及び負担金、財産収入、繰入金、寄附金

■ 一般会計の市債と基金の残高見込み

(平成 28 年 2 月現在)

市債残高	294 億 7,795 万円
基金残高	24 億 9,633 万円



■ 歳出の概要

地方自治体の歳出を分類する方法には、経済的性質に分類した「性質別経費」と、行政目的に分類した「目的別経費」があり、それぞれ以下のグラフのとおりとなっています。

地方自治体の経費を性質別にみると、「義務的経費」・「投資的経費」・「その他の経費」に分類することができます。「義務的経費」とは支出が義務付けられており、任意に節減することのできない経費（人件費・扶助費・公債費）で、「投資的経費」とは学校や道路などの建設・整備に要する経費です。そして、歳出全体から「義務的経費」及び「投資的経費」を除いた経費を「その他の経費」としています。

■ 性質別内訳

【義務的経費】

義務的経費は、前年度と比較して0.4%減の157億6,923万円（6,185万円の減）、歳出全体の57.6%としました。扶助費については、生活保護費のほか、高齢者、児童、障がい者などに対する社会保障関係費として3.9%増の85億5,759万円（3億2,421万円の増）と見込む一方、人件費は8.3%減の40億8,379万円（3億6,879万円の減）、市債の償還に係る公債費については、0.5%減の31億2,786万円（1,727万円の減）と見込み、主な減の要因となりました。なお、直近5年間の扶助費の推移については下のグラフをご参照ください。

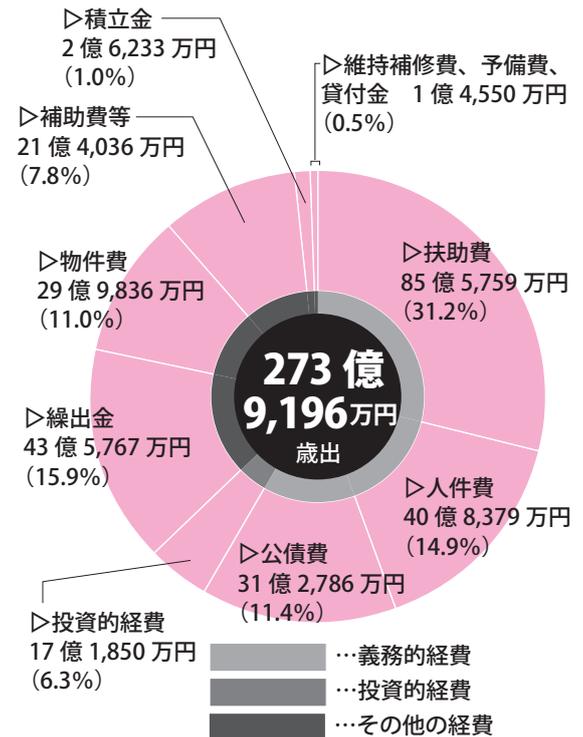
【投資的経費】

投資的経費は、前年度と比較して17.7%減の17億1,850万円（3億7,036万円の減）、歳出全体の6.3%としました。これは、体育館施設整備事業3億7,500万円、自転車駐車場整備事業1億3,556万円が増となる一方、南海本線連続立体交差事業費を5億9,954万円（2億1,175万円の減）、旭小学校増改築事業費を2億6,387万円（1億9,346万円の減）、小中学校施設整備事業の減などを見込んだことによるものです。

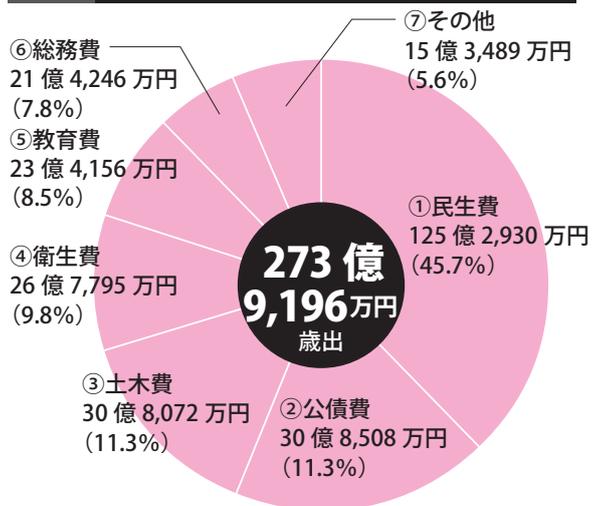
【その他の経費】

その他の経費は、前年度と比較して0.7%減の99億423万円（6,843万円の減）、歳出全体の36.1%としました。これは、国民健康保険事業特別会計繰出金が1億3,203万円の増となったものの、泉北環境整備施設組合負担金（清掃分）を5億2,135万円（1億9,159万円の減）、下水道事業特別会計繰出金を14億5,184万円（9,816万円の減）などを見込んだことによるものです。

歳出 使いみちの「性質」別内訳グラフ

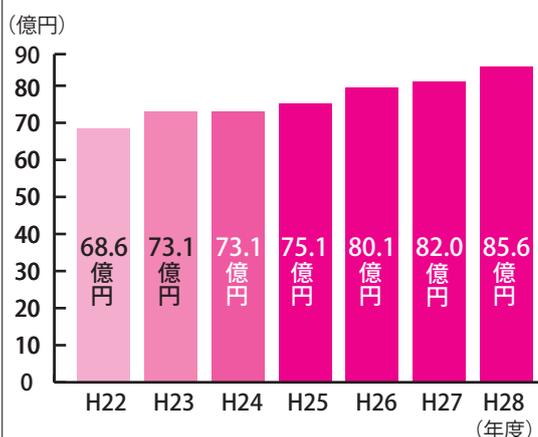


歳出 使いみちの「目的」別内訳グラフ



■ 扶助費の推移

H22～26 は決算、H27 は決算見込み、H28 は当初予算



（次ページに続く）

歳出 市民一人あたりの予算

平成28年度の歳出予算額を、市民1人あたりに置き直すと…

※平成28年1月1日現在 住民登録人口7万5,882人で計算

●市民一人あたりの歳出額…36万981円(4,929円の減)

- ①民生費（高齢者や障がい者、児童の福祉に）—16万5,116円（7,589円の増）
- ②公債費（借入金の返済に）———4万656円（42円の減）
- ③土木費（道路・河川・公園整備に）———4万599円（5,387円の減）
- ④衛生費（ごみ処理や病気予防に）———3万5,291円（1,240円の減）
- ⑤教育費（学校、公民館、生涯学習に）———3万858円（2,639円の減）
- ⑥総務費（窓口業務や税金徴収に）———2万8,234円（1,308円の減）
- ⑦その他（消防活動、防災、議会運営、商工、農林水産業に）———2万227円（1,902円の減）

平成28年度の歳入における市税予算額を市民1人あたりに置き直すと…

※平成28年1月1日現在 住民登録人口7万5,882人で計算

●市民一人あたりの市税負担額…14万6,701円

28 年度の本市一般会計当初予算を、家計簿におきかえてみると…？

おづみんの家計簿

ここでは、泉大津市の平成 28 年度の予算を「おづみんの家計簿」に置き換えています。イメージがつきやすいように 5,000 分の 1 に縮小してみました。家計簿なので単純に比べられないところもあります。あくまでも参考としてご覧ください。



歳入 おづみんの「収入」

収入の内容	収入額
会社からの給料	223 万円 (▲2 万円)
パート・家賃収入	11 万円 (±0)
実家からの援助	258 万円 (▲3 万円)
不動産収入	9 万円 (▲1 万円)
銀行などからの借入金	39 万円 (▲11 万円)
貯金の取崩し	9 万円 (+4 万円)
前年度からの繰越	200 円 (±0)
1 年間の収入合計	549 万 200 円 (▲9 万円)

※ () 内は前年度比

歳出 おづみんの「支出」

支出の内容	支出額
食費	82 万円 (▲7 万円)
光熱水費	60 万円 (+1 万円)
医療費・介護費用など	171 万円 (+9 万円)
ローンの返済	63 万円 (±0)
家・車の修理代など	3 万円 (+1 万円)
会費・お祝い金など	44 万円 (▲6 万円)
子どもへの仕送り	87 万円 (+1 万円)
家の増改築・車の購入代など	34 万円 (▲8 万円)
友人へ貸したお金	200 (±0)
貯金	5 万円 (±0)
1 年間の支出合計	549 万 200 円 (▲9 万円)

※ () 内は前年度比

おづみんのローンと貯金 (平成 28 年 2 月現在)

ローン	590 万円 (+22 万円)
貯金 (現金)	50 万円 (▲2 万円)

おづみんの家計簿の円グラフ

